

▲山本支店長(左)から町長へ寄付金が手渡されました

## 滋賀銀行日野支店行員の皆さんから 寄付金をいただきました

9月28日、滋賀銀行日野支店（山本茂樹支店長）行員一同様から、寄付金3万円をいただきました。

これは、滋賀銀行で開催されたチャリティバザーの収益の一部で、町の教育振興のために、ご寄付いただいたものです。町の子どもたちのために、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

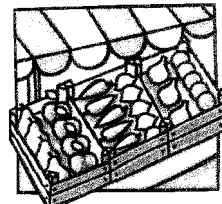
～あなたの街で調べた物価、くらべてわかる日本経済～

## 11月21日に 「全国物価統計調査」を実施します

調査対象となる店舗の皆さんには、調査へのご協力をお願いします。

この調査は、商品の販売価格やサービス料金、また、これらを取り扱う店舗の業態や経営形態など、価格の決定に関係する様々な要素を調査し、物価の店舗間の格差、銘柄間の格差、地域間の格差などを明らかにするものです。

日野町内では、約70の店舗が対象となります。対象となった店舗の皆さんには、調査へのご協力をお願いします。



### ◎都道府県別物価水準（全国物価地域差指数：全国＝100）

	H9年	H14年	備 考
滋 賀 県	97.9	97.8	
京 都 府	104.1	102.4	
大 阪 府	103.5	101.9	
兵 庫 県	101.9	100.4	
奈 良 県	100.3	99.5	
和歌山県	100.0	99.2	
東 京 都	112.5	108.7	全国で最も高い物価水準
沖 縄 県	94.1	92.3	全国で最も低い物価水準

◆問い合わせ先 企画振興課 ☎6552 有線68963

## 綿向雑感

日野町長 藤澤直広

深まりゆく秋、ジョギングコースの山の道、新溜にさしかかる上り坂でアケビを発見。紫がかった皮がはじけ、タネ

を包む柔らかくて白い実を食べてみました。久しぶりの甘い味と舌触りの感触が懐かしく感じられました。小学生のころ、アケビを採るため木の枝の先までこわごわ進み「落ちるかな」と思ったら、やっぱり落ちて背中を強く打ったことを思い出しました。栗もナツメもアキハゼも山でとれる秋の味覚は、子どもたちにとって宝物でした。木に登るにはどうすればいいのか、栗のイガはどうしてむくのか、アケビは毎年どこに行けばあるのか、体と頭で覚え考え体験したものです。

ところで、10月から朝の連続テレビ小説「ちりとてちん」が始まりました。主人公の喜代美が、小学3年生のとき祖父の死と直面するシーン。大好きなおじいちゃんの死を悲しみ、三方五湖を見下ろす梅丈ヶ岳から、願いがかなうと

いうカワラケ投げを、頬に涙をしつつ「おじいちゃんが天国にいけるように」と念じるシーンは胸に迫りました。身近な肉親の死を経験し、死とは何か、生きるとは何かを心で感じる体験は貴重なものだと思います。

紅葉の色、コオロギの声、菊花の香り、柿の味、頬をなでる秋風、五感を磨き、心を磨き色々な体験をすることは、人が生きていく上で大切なことです。かつて、水をくみ薪を焚き風呂を沸すことは、子どもたちの仕事でもありました。今では、ボタンを押すだけで何分かすれば「お風呂が沸きました」と知らせてくれます。便利な社会はありがたいことです。しかし、子どもたちが遊びやお手伝いを通じて、当たり前前に体得してきた「技術」や「知恵」を磨く機会が少なくなっていることは確かです。自然と触れ合うこと、人と触れ合うこと、何かを作り上げること、体験をたくさん積んで幅広い、奥深い、柔らかい、温かい、たくましい子どもたちに育てることが大切です。いよいよ中学校建設です。家庭や地域とともに、子どもたちの笑顔があふれる環境づくりに努力したいと思います。